

# もりやま 市議会だより



No.169

2023年5月1日

ともに考えよう 守山の未来



## もりやま未来ミーティング

日本一住みやすいまちって、どんなまち？  
市民・学生・議員らが話し合いました！

# 3月定例会会議

## あかぶちよしたか 赤瀨義誉副議長が就任

森重重則副議長の議員辞職により、3月2日に開催された定例会会議において、新たに赤瀨義誉副議長が選出されました。



会派：新政会  
議会改革・広報広聴特別  
委員長、総務常任委員会  
副委員長などを歴任。  
播磨田町在住

### 就任挨拶

この度、副議長を拝命し、その重責に身の引き締まる思いです。

守山市の発展に向け、行政と議論を重ねる中、諸課題の解決に取り組んでまいります。

また、市民の皆さまにとって、より身近な議会の実現に誠心誠意努めてまいります。

森中市政  
スタート

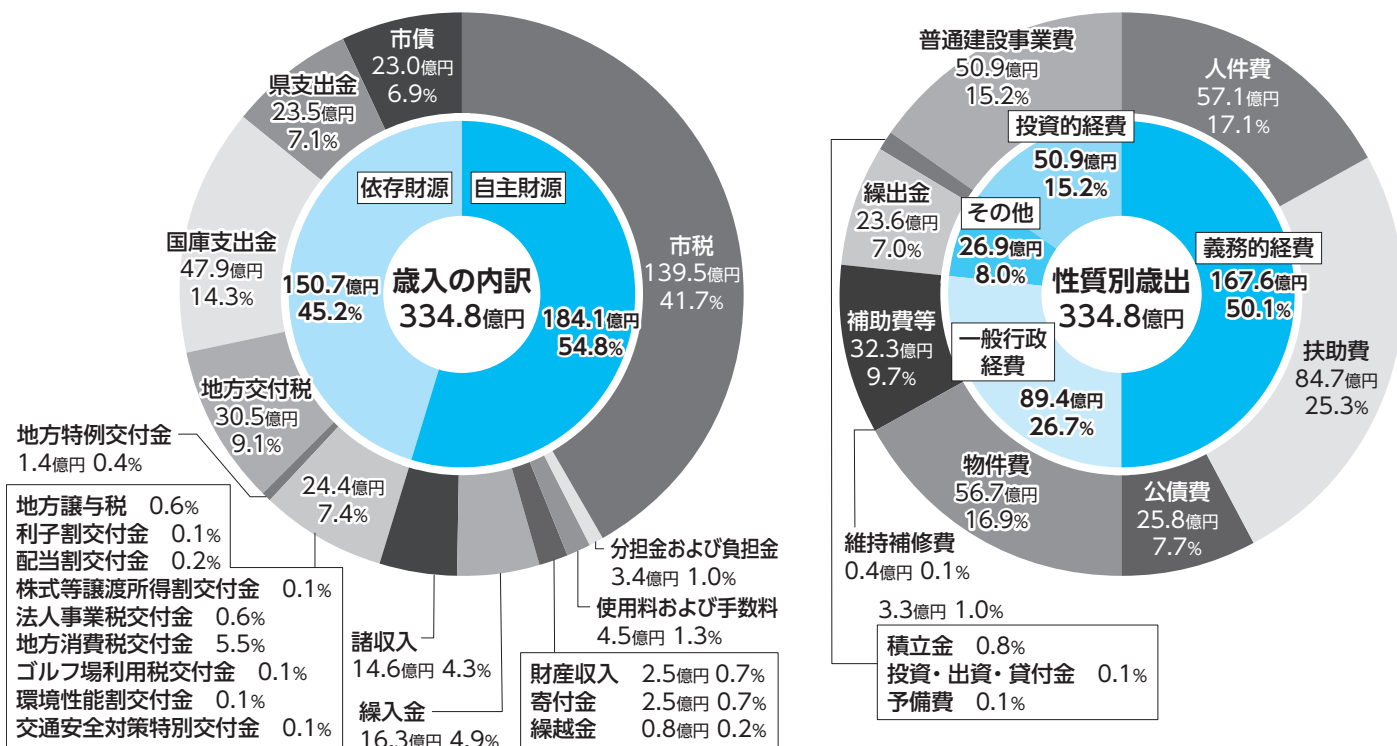
# つながりで切り拓く 「守山の新時代」!

令和5年度一般会計当初予算 334億8千万円 **可決**

令和5年度の主な大規模事業は、新庁舎整備事業(23.2億円)、立入公園整備事業(5.7億円)、北消防署出張所建替整備事業(5.1億円)、環境センター解体事業(2.9億円)です。

森中市長が掲げる政策に係る新規事業等については、6月定例会会議での予算化に向けて引き続き検討するとされ、今回の当初予算は**骨格的予算**となります。

### 歳入歳出の内訳(一般会計)



# 「4本柱」に基づく施策を展開

## 柱1. 子育てするなら守山！

### ●保育士の配置に係る補助金の拡充 1億5,228万円

より質の高い保育の実現に向けて国の配置基準を上回る手厚い保育士の配置を行う。

### ●保育所入所申込に係るAIシステム導入 1,453万円

### ●紙おむつの処分を園で実施 224万円

### ●送迎用バスの安全装置導入補助金の新設 52万円

### ●子ども通院医療費助成事業(通年化) 6,473万円

小学校4年生から6年生までの子どもの医療費の助成を引き続き実施する。

### ●学校司書配置の拡充事業 542万円

本好きの子どもを増やし、読書日本一のまちづくりにつなげるため、令和5年度から学校司書を7名配置する。(令和4年度までは4名配置)

### ●やすらぎ支援相談員配置事業 850万円

不登校児童生徒などの増加に伴い、新たに市内全小学校にやすらぎ支援相談員を配置するとともに、中学校の配置人数も拡充し、教室復帰支援や悩み相談など、児童生徒をさらに支援する。

〈やすらぎ支援相談員〉令和5年度から17名配置(令和4年度までは4名配置)



### 議員からの意見

- ・不登校の相談先など分かりやすいガイドブックを作ってはどうか。
- ・地域の居場所づくりは実態をきちんと把握することが大事である。

## 柱2. 住むなら守山！

### ●重層的支援体制整備事業 2億2,702万円

家族まるごとの相談支援体制の充実や「つながり・社会参加が生れる場づくり」として、地域の支え合いを促進する取組の支援や一人ひとりの多彩な社会参加を応援する。

### ●人間ドック・脳ドック・骨密度検診利用助成事業 1,363万円【国保特別会計】

助成金額を1/2から2/3相当額に拡充する。

### ●結婚新生活支援事業 600万円

新婚新生活支援補助金 1世帯当たり上限30万円

〈所得要件〉夫婦の合計所得が500万円未満(令和4年度までは400万円未満)

〈補助対象経費〉令和5年度中に支払った経費(住宅購入費、家賃、引越し費用など)

## 柱3. 働くなら守山！

### ●守山駅東口あり方検討事業 2,300万円

令和5年度は、市民アンケートを実施し、幅広く意見を聴取するなかで基本計画の策定を進める。

### ●地方創生推進事業(起業・創業の支援) 570万円

新たな起業や事業の創出など、地域における雇用の創出や地域活性化に向け、民間主導の取組支援など、官民連携により、市内外から「起業家の集まるまち」を目指す。

## 柱4. 市民が主役の守山！

### ●自治体DX推進事業 2億5,171万円

新庁舎整備に合わせICTを活用した「窓口のスマート化」を推進するなど、各部署でDX（業務プロセスの再構築など）に取り組み、国が進める標準化などにも着実に対応し、「誰一人残さない、人にやさしいデジタル化」を推進する。

### ●北部図書館整備事業 413万円

令和5年11月開館に向けて備品購入等の整備を進める。また、12月中旬には直木賞作家・今村翔吾さんによる開館記念講演を開催する予定。

### ●市民活動支援事業 49万円

地域の様々な団体の市民活動を応援するため、市民参画手法の活用等により、まちづくりに関わる市民を増やし、市民活動の活性化を図る。

## 1月臨時会議

歳入歳出補正額 6億6,486万円

可決

### ●旧都賀山荘およびスポーツ広場敷地における廃棄物(レンガ片)混じり土砂等除却事業 5億円

村田製作所に売却した旧都賀山荘およびスポーツ広場敷地内の廃棄物混じり土砂等について、同社との土地売買契約における契約不適合責任に基づき、除去工事を市が実施するもの。

### ●出産・子育て応援事業に係る費用の補正 1億3,020万円

全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができるよう、これまで実施してきた妊娠期からの切れ目のない支援をより充実させた伴走型の相談支援と経済的支援を一体的に実施し必要な支援を行うもの。

#### 【経済的支援】

妊娠届出時・出産後の面接実施後にそれぞれ5万円(計10万円)を支給する。

〈対象者〉令和4年4月1日以降に妊娠届出をした妊婦および出生した子を養育する者

### ●環境学習都市宣言推進基金への積み立て 2,000万円

## 中学校卒業までの通院医療費助成に向けて市議会が市長に要望！

森中市長は施政方針において、「子どもの医療費助成の拡大について早期に検討を進めていく」と表明される中、本会議の代表質問では、各会派ともに子育て対策について質問し、市長からも積極的な答弁を受けました。

3月15日現在、滋賀県内の子ども通院医療費助成については、小学校卒業までが大津市・草津市・栗東市・野洲市・守山市の5市で、7市は中学校卒業までとなっています。

このような現状を踏まえ、3月15日開催の全員協議会の場で市議会の総意として、筈井議長より森中市長に対し、「子どもの通院医療費助成拡大を求める要望書」を提出しました。



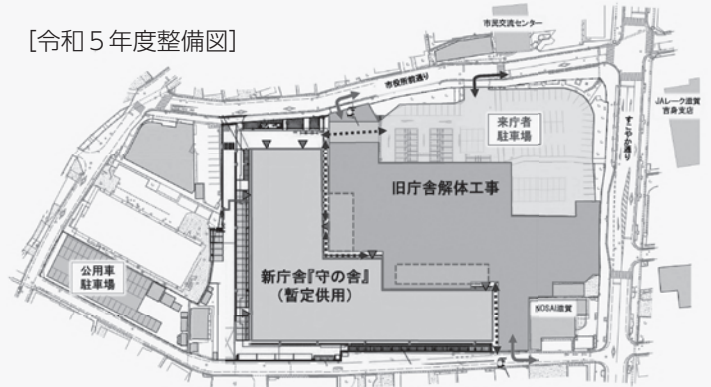
## 総務常任委員会

### 委員会協議会

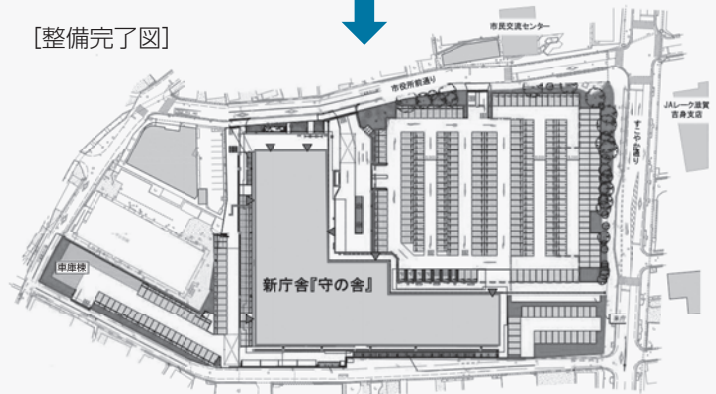
#### 新庁舎整備にかかる今後のスケジュール(予定)

- 令和5年
  - 5月～ 大ホール解体工事(8月末まで)
  - 5月下旬 新庁舎建物引き渡し
  - 7月末まで インフラ工事・機器設置
  - 8月13日まで 段階的に移転(引っ越し)
  - 8月14日から 新庁舎での業務開始
  - 9月～ 旧庁舎解体工事(R6年3月まで)
- 令和6年
  - 4月～ 外構工事(駐車場を確保しながら段階的に実施)
- 令和7年
  - 12月 新庁舎整備事業完了

[令和5年度整備図]



[整備完了図]



## 文教福祉常任委員会

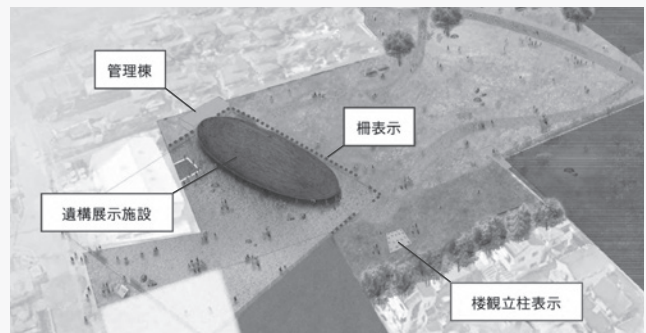
### (仮称)伊勢遺跡史跡公園整備事業

1億5,266万円

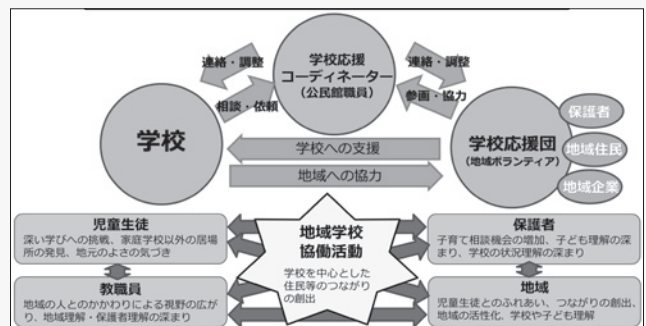
国史跡「伊勢遺跡」の適正な保存および活用を推進するため、(仮称)伊勢遺跡史跡公園を整備する。

令和5年度は、館内の展示にかかる整備と外構工事に着手し、令和5年11月の供用開始を目指す。

[施設全体完成イメージ図]



[地域学校協働活動イメージ図]



### 地域学校協働活動事業

20万円

地域と学校が連携・協働し、幅広い地域住民や保護者などの参画により地域全体で子どもたちの成長を支え、地域を創生する活動を推進する。モデル校は3校。

## 環境生活都市経済常任委員会

### モリヤマメロンパッケージ支援補助金

375万円

県下初!

安心して就農できる環境を目指して、新たにモリヤマメロンを生産する方に対し、移住から生産までの総合的な支援を行うもの。

補助率／上限額	50%～100%／最大375万3千円(1名分)〈支援期間〉1回～最大3年間(メニューによる)
対象者	モリヤマメロンを専作する認定新規就農者等
補助内容	①家賃補助 ②空家活用補助金 ③移住補助 ④農地補助 ⑤機械施設等取得補助 ⑥生産資材経費補助 ⑦就農支援補助 ⑧生産技術指導補助 ⑨トレーニングハウス利用補助

### 市民窓口体制の充実

#### ◆窓口コンシェルジュの配置 1,040万円

市民課および税務課窓口コンシェルジュを配置し、来庁者の目的に応じて、適切かつ丁寧に手続きの案内等を行う。

#### ◆キャッシュレス決済の導入 40万円

市民課および税務課発行の証明書の手数料支払いに、キャッシュレス決済を導入する。

【導入する決済方法(予定)】 ・クレジットカード ・電子マネー ・QRコード



### 行政視察報告

〈1月24日〉静岡県静岡市

【道の駅「蒲原トライアルパーク」について】

静岡市の道の駅「蒲原トライアルパーク」は、他市の道の駅とは概念が異なり、ハコモノを建築せず、地域、企業、行政の各々が人・モノ・アイデアを出し合いトライアル(使い方を試行)を繰り返すことで賑わいを創出するコンセプトとなっている。実際に現地にはトイレ等の最低限の施設しかないが、道の駅から一望できる富士山は絶景であり、ソフト事業のみで集客に取り組む同施設は先駆的な事例であった。



〈1月25日〉静岡県富士市

【富士駅周辺再整備について】

富士市の富士駅周辺再整備は、本市とは都市の規模や事業規模が違うが、駅周辺の活性化・賑わい創出という点で共通するものがあつた。本市においても駅前新施設等の整備が計画されているが、富士市では公益施設整備という形で計画されており、整備在りきではなく、利用してもらうための市民ニーズ調査に力を入れているとのことであつた。また、駅前周辺の再開発には、地権者が主となり開発を行う場所があり、官民が一体となり、市の顔である富士駅周辺の活性化を図ろうとする熱意を感じた。



## 公共施設調査特別委員会

### 学校視察の結果報告について

大規模改修が出来ていない市内小中学校4校に当委員会委員が訪問し、学校長と教頭にご対応いただき、学校現場の声を聞かせいただきました。

#### 〈視察対象学校(視察日)〉

- ①物部小学校(2月3日) ②立入が丘小学校(2月3日)  
③速野小学校(2月6日) ④明富中学校(1月26日)

#### 〈視察内容〉

令和5年度当初予算において、各学校から教育委員会に要望された事項を中心に説明を受け、校舎内の状況確認を行いました。

#### 〈主な課題等〉

- トイレの改修、多目的トイレの設置。
- 経年劣化による、教室・廊下・体育館等の壁や床の修繕。
- 校内電話の設置。
- 高木の剪定など高木管理。

など、他にも様々な課題があり、各学校が児童生徒の安全・安心面において、危惧されていることがよく分かりました。

#### 〈今後の予定〉

今回の視察結果をもとに課題を抽出し、委員会で議論を行い、令和5年9月には行政に対し、より良い学習環境に向けた提言を行う予定です。



小学校 教室のカーテンの破れ

### 行政視察報告

#### 〈1月18日〉愛知県豊川市

##### 【学校施設における環境改善の整備について】

豊川市では、学校環境整備として、平成26年度から「学校で気兼ねなく行けるトイレ環境づくり」が進められている。「トイレ環境づくり」は、①防災機能の強化、②洋式便器の整備、③3K(くさい・くらい・きたない)のイメージ改革、④性の多様性に配慮した取組みの4つを柱に整備が行われていた。特に、性という視点では、トイレドアの表示を車椅子利用者から「みんなのトイレ」デザインに変更され、誰もが安心して利用出来るよう配慮されていた。

そうした視点での環境整備の必要性を感じた。



#### 〈1月19日〉静岡県沼津市

##### 【学校施設の長寿命化の取組みについて】

沼津市では、国の交付金を出来るだけ活用した中で、学校施設の防災・安全のための改築、長寿命化改修、予防改修と同時に、学校施設の統廃合・小中一貫学校・学校施設の複合化などが進められている。特に、長寿命化改修においては、屋外避難階段の新設、トイレの乾式化、空調設備の設置、コンクリートの中酸化対策(中性化抑制剤を塗布することで、長期間の使用が可能となる)などの整備がされていた。本市の学校施設が災害時の避難場所としての機能も果たせるよう、長寿命化改修を進めていくうえでの参考としたい。



## 子育て支援対策特別委員会

2月28日に開催された本委員会のテーマは「これからの幼児教育と魅力向上の取組について」「こどもの育ち連携の取組について」でした。市立幼稚園・こども園の園長にも出席いただきました。

	幼児の数	
	H26年	R4年
3歳児	1,002	842
4歳児	966	877
5歳児	1,030	922
合計	2,998	2,641

### 1. これからの守山市の幼稚園教育と魅力向上の取組について

#### 市内幼稚園の園児数・学級数

		定員	R4年5月	充足率	空き教室
物部	学級数	6	5	53.7%	1
	園児数	190	102		
吉身	学級数	9	6	46.7%	3
	園児数	285	133		
立入	学級数	6	4	46.8%	2
	園児数	190	89		
河西	学級数	7	6	71.0%	1
	園児数	210	149		
速野	学級数	6	3	34.2%	3
	園児数	190	65		
合計	学級数	34	24	50.5%	10
	園児数	1,065	538		

守山市では、保育園の入園希望者が増加する一方で、幼稚園の園児数は年々減少し、充足率はほぼ50%。就園率を上げるために、以下の取組を行っています。

#### 《幼稚園の魅力向上のための取り組み》

##### ①預かり保育の拡充

現在全園で預かり保育を実施(午後4時半まで)  
令和5年度から、春休みの利用期間の拡充。

##### ②未就園児交流事業の拡大

2歳児を中心とした未就園児を交流事業で積極的に受け入れる。

##### ③特別支援教育体制の充実

特別支援が必要な子どもに対する適切な支援の実施。

#### 議員からの意見

- ・小学校と併せて幼稚園給食も実施する考えはないのか。
- ・幼児教育無償化となり、給食がある保育園に入園希望が増えるのは当然。保護者からの希望が多い給食を検討してはどうか。
- ・幼稚園からの小学校入学はスムーズだし、地域のつながりの中で育つ魅力があることをPRする必要がある。
- ・就学前教育がしっかりしていることで、小学校生活が安定する。

### 2. こどもの育ち連携の取組等について

守山市では平成31年度より「①守山版ネウボラの推進」「②妊娠期からの切れ目のない親子教育の推進」「③効果的な子育て情報の発信」「④幼保小中の一貫した教育の推進」を4つの柱に、こどもの育ち連携を展開しています。

今後、令和6年度に向け「こども家庭センター」の設立を準備しています。「こども計画」も策定します。

#### 議員からの意見

- ・こども計画の策定時には、率直な子どもの意見が聴けるようにしてほしい。
- ・こどもの育ちアンケートなど、学校現場の負担が大きくなるように。

#### 研修報告

3月2日、市役所議場にて、大阪教育大学の小崎恭弘氏を講師に、「子どもの居場所づくり～公立の役割とその意味～」をテーマに研修を行いました。





## 議会改革・広報広聴特別委員会

### 「もりやま未来ミーティング」の開催結果

議会の「広聴」機能を強化する取り組みとして、対話型イベントを市民協議課と開催しました。参加者は6つのグループに分かれて、アイスブレイクの後、「守山市の魅力と課題を挙げてみよう」「日本一住みやすいまちって、どんなまち？」「20年後に向けて、それぞれの立場でできることは？」という3つのステップで話し合いました。

参加者アンケートの結果は「楽しかった(70%)」「ためになった(59%)」「話しやすい雰囲気だった(33%)」など好意的なものがほとんどで、「つまらなかった」という回答は0名でした。委員会では、次回以降の開催に向けて様々な意見が出されました。

〈日 時〉 2月4日(土) 午後1時30分から午後4時30分まで

〈会 場〉 市民交流センター 多目的ホール

〈参加者〉 市民31名、議員6名、アドバイザー1名、ファシリテーター9人、学生6人



- ・ 普段、議員や行政と接点の少ない若い世代と話げたのが良かった。
- ・ まちの未来を話す会にこれだけ多くの若者が参加してくれたことが嬉しかった。
- ・ 今後、参加者同士が関係性を継続できるような仕掛けがあっても良い。
- ・ 主催者側の話が長い、ファシリテーターの役割分担が曖昧など、改善出来る点多かった。

※開催の様子は議会だよりの表紙です。

### 行政視察報告

〈1月17日〉 愛知県瀬戸市

【広報広聴の取り組みについて】

瀬戸市議会では、議会活動を広く市民に周知を図り、市政に対する市民ニーズを的確にすることを目的に、平成28年に広報広聴協議会を設置され、広報部会と広聴部会に分かれて、議員が中心となり取り組まれていた。また、市民との意見交換として、各常任委員会で「せとまちトーク」を実施され、市民の意見を政策提言につなげるため、政策検討会議を開催し全議員で進捗・成果について情報共有し、議会全体でチェックする政策形成サイクルの仕組みが確立されていた。市民が議会に関心を持ってもらうための重要な仕組みだと感じた。



〈1月18日〉 三重県亀山市

【議会ICTの取り組みについて】

亀山市議会では、平成25年にICT化に関するアンケートを実施、平成27年にタブレットを導入し、平成28年5月から本格運用されている。更なるICT化を進めるため、次期タブレット端末等の更新に向け、プロジェクトチームを設置し、運用ルールなどを議員が中心となり議論を重ね、令和3年に新たなタブレット端末と会議システムを導入されていた。単純にシステム等を導入することが議会ICT化ではなく、議会ICT化の推進に向け、議会運営の仕組みを考えていくことが重要であると感じた。

